

令和7年度 学校評価結果

学校法人 晃佳育英学院ひまわり幼稚園

教育理念（理想）

「三つ子の魂百まで」と言われるように、幼児期の経験は生涯にわたって影響を及ぼすといわれています。

この時期に人間形成の基礎が培われることを踏まえて、一人ひとりの子どもが「愛されている」という実感を持ち、楽しさや喜びを感じながら、肯定的に力強く生きていけるように育成する。

教育方針（実践の方向性）

1. 自我の芽生えや、他者理解の発達段階を踏まえ、自立心、言葉による伝え合い、協調性を育成する。
2. 社会のルールを守り、明るく元気な身体と、思いやりのある道德心を育成する。
3. 家庭との連携を図りながら数量や空間の認識、文字等への関心・概念を育成する。

教育目標（目的達成のための具体的方針）

1. 年間を通して健康で安全で明るい生活を送り、幼稚園を楽しい場と感じられる保育を行う。
2. 子どもの長所を見つけ、伸ばす保育を行う。
3. 一人ひとりの子どもの気持ちを大切に、異年齢児との関わりを通して思いやりの心を育てる。
4. 集団生活への参加意欲を育て、多様な経験を通して豊かな感性・チャレンジ精神・達成感を育成する。
5. 専門講師による指導を通して以下の力を育てる。
 - ・ 体育活動：基本的運動能力と安全に行動する力
 - ・ 科学活動：好奇心・探求心・発想力
 - ・ 造形活動：イメージを広げ表現する力子どもの安全を保つため必要な基本動作として運動感覚を養う体育活動
好奇心や探求心、発想力を養う科学活動
6. 年間行事を通して日本の伝統文化に触れる機会を設ける。

取り組むべき課題

1. 多様な表現活動が可能となる環境整備
子どもが主体的に表現できる素材や環境を整え、安心して関われる場をつくる。また、必要以上の言葉かけを控え、子ども同士の話し合いを大切にする。
2. 自分の思いを言葉で表現する力の育成
絵本を読み聞かせ等を通じて語彙を増やし、自分の思いを表現する力を育てる。
3. 自然を大切にする心の育成

身近な自然に触れる機会を通して、環境保全の大切さを知り、自分にできることを考える力を育てる。

4. 身体を十分に動かす経験の充実

遊びを通して多様な動きを経験し、身体能力の向上を図る。

評価項目の達成および取り組み状況

I 保育の在り方

年長児

友達同士で話し合いながら活動を進める姿が多くみられ、自主性や協調性が育っている。行事活動においても、自分の役割を意識しながら最後まで取り組もうとする姿がみられた。

年中児

様々な活動への興味や関心が広がり、自分の思いを言葉で伝えようとする姿が増えた。友達との関わりの中で相手の気持ちを考えながら遊ぶ姿が見られた。

年少児

園生活に安心して参加し、基本的な生活習慣を身に付けようとする姿が見られた。先生や友達との関わりを楽しんでいる姿が増えた

II 保護者園評価アンケート結果 (%)

項目	評価
1 お子様は、幼稚園生活を楽しんでいる。	95
2 幼稚園は、健康に過ごせるように子どもに指導している。	100
3 幼稚園は、一人ひとりを大切にする教育をしている。	100
4 幼稚園は、思いやりや優しい心を育てている。	94
5 幼稚園は、生命を大切にする心を育てている。	100
6 幼稚園は、お子様の安全を守るための取り組みを行っている。(避難訓練等)	100
7 幼稚園は、幼稚園施設の整備や園内環境の美化に努めている。	94
8 教職員は、来園時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	99
9 幼稚園は、地域・保護者と協力しながらお子様を教育している。	100
10 幼稚園は、保護者の要望を受け止め、幼稚園の改善に活かそうとしている。	94
11 幼稚園は、教育理念や教育方針を分かりやすく伝えている。	98
12 幼稚園は、行事を、幼児の実態に合わせて計画している。	100
13 幼稚園は、お子様が様々な表現を楽しみ、表現する意欲を発揮させることができるような環境を整えている。	96
14 幼稚園は、様々な表現に触れさせ、情操を育て、自己表現できる人に育てている。	90
15 幼稚園は、身近な自然や社会とかかわることができるように配慮している。	95

16	幼稚園は、お子様を温かく受け入れる環境を作り、人とかかわる力が育つような配慮をしている。	97
17	幼稚園は、お子様の困ったことや保護者の悩みや相談に応じている。	100
18	幼稚園は、環境の大切さ、自分の手で物を作る喜びを伝えている。	100
19	幼稚園は、お子様の身体能力が高まるよう努め、空間認知能力や、体幹を鍛えている。	94
20	幼稚園は、お子様を自己肯定感が持てるように育てている。	90

ご意見（保護者より）

- ・行事が多く、様々な経験ができています。
- ・園での出来事を楽しそうに話すようになった。
- ・温かい関わりに安心しています。
- ・先生方の対応が親身で心強い。

Ⅲ 今後、取り組むべき課題

- 1 物を大切に扱う意識の育成（玩具・遊具・絵本等）
- 2 自分の思いを言葉で表現する力の育成
- 3 表現語彙の獲得と活用
- 4 自然環境への関心と行動力の育成
- 5 新しいことへの挑戦する心の育成

Ⅳ令和8年度 幼稚園が大切に教育していきたいこと

- ・子どもが主体的に園生活を送れるよう、生活環境や言葉かけを工夫する。
- ・全員が気持ちよく生活できるよう、園生活のルールを子どもと共に考える機会を設ける。